

令和4年度 学校評価公表シート

岩見沢めぐみ幼稚園

1. 園の教育理念

- ・ 園児一人一人に愛情を持って接する。
- ・ 良いこと悪いことの区別を教える。
- ・ 礼儀作法（特に挨拶）のしっかりした子に育てる。
- ・ 情操教育を通し心の温かい思いやりのある子に育てる。
- ・ 広い自然環境を生かし、自然に親しみ健康な子に育てる。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教諭自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園の教育方針を理解し、指導計画・月案・週案を計画し、保育を展開している。	園の教育方針・ねらいを教職員が理解し、週1回は会議を行い立案・確認をしている。
幼稚園教育要領の特性を理解し、それぞれの活動に目標を持って指導実践している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
毎日の保育の評価・反省を行うとともに、日々子どものかかわりについて振り返り、次からの保育へ活かせるようにしているか。	教諭は日々の記録を行い子どもの実態を把握し、また、各クラスで月や週の目標を定め、月末に達成状況を報告し合うようにしている。
研修の意義と重要性を理解し、専門性の向上に努めている。	各研修会や研究会に参加し学んだこと職員会議などにおいて提供し、共有化を図るようにしている。
子どもが明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わえるような保育をしている。	一人ひとりの子どものよさを認め、教諭が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの一日の流れのなかで、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。

身近な環境に親しみ様々な事象に興味や関心が持てるような保育をしている。	隣接している公園に散歩に行ったりしながら、季節の移り変わりなどを自ら発見し気づけるように促している。
子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境構成と子どもが主体的に活動し、幼児期にふさわしい体験が得られるよう工夫している。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を整え準備するようにしている。
幼稚園内外での危険場所・場面を確認し、危険を予測する力を身に付け、環境を整えることができている。	教職員は危険マニュアルを参考にし、危険な事例などを分かりやすく子どもたちに知らせるとともに、園舎や園舎周りの環境を点検している。
苦情や要望を積極的に受け止め、保護者や苦情申し出人とより良い人間関係を築くことができるようにする。	行事後のアンケートなどで保護者の声を聞き、敏速に対応するよう心がけている。また、常に職員間で話し合いを持ち解決するようにしている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	今年度も、新型コロナウイルス感染症に配慮しながらその中でも子どもたちが楽しく園生活が送れるように環境や行事等を工夫した。その中でも積極的に研修などを行い質の良い保育を心掛けた。しかし、自己評価では、例年になく基本的なことのポイントが下がっていて今後の課題となってしまった。今後は、更に充実した実践ができるように一人ひとりと向き合い、努力を積み重ねていきたい。また、園での様子なども皆さまにお伝えする努力をし、子ども達が安心、安全に遊べる環境を整え、職員一同努力を重ね前進していきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
支援を必要とする園児	専門機関との連携を図り、研修会などに積極的に参加し、教職員の専門性を高める。
自己点検、自己評価	年度初めに挙げた自己目標を学期ごとに振り返り、改善点を再確認する。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。

6、学校関係者評価委員会の意見

菅原 崇 様（岩見沢市立北真小学校教諭）

保護者アンケートの数値や自由記述から、質の高い保育を提供されていることがわかります。新型コロナウイルス感染拡大の継続により様々な活動が制限された中で、これだけ高い満足度を得られたのは、職員の皆様が、感染症対策を講じながら少しでも質の高い保育を施そうと努力された結果であると考えます。また、ホームページやブログ、スマートフォンアプリによる情報提供など、時代に即した工夫も高い評価につながっていると考えられます。

総じて、教職員一人ひとりの多大な尽力により、園児および保護者から高い評価を得ています。新型コロナへの対応は、徐々に変わりつつあります。めぐみ幼稚園の保育理念を堅持しつつ、時代の変化に即応した保育の実施をとおして、子どもたちが明るく健やかに成長できる幼稚園づくりに御尽力ください。

齋藤 聡 様（岩見沢公益社社長 元父母の会会長）

保護者も、年々考え方などが変わってきており、自身の欲求、権利を主張することもあります。その中でも、曖昧にしないで、出来ることは出来る。出来ないことは出来ないとはっきりとお伝えすると良いと思います。ただ、時代の流れの中で、普段家庭では見ることの出来ないお子様の表情を配信できるサービス、セキュリティーは必要ですが、今まで以上に対策を講じるべきと思いました。

また、職員のアンケートで気になった点が、園の指導計画、教育方針、目標をあまり理解されていないと感じました。企業であれば、どんな時でも経営理念が体にしみこむまで教えていきます。心一つに園を活性化するのであれば、思いを一つにベクトルを合わせて進まなければ、自己中心的な人が増えていき、目指す園の姿がぼやけてしまいます。以上が気になった点です。

玉田 尚久 様（岩見沢めぐみ幼稚園 父母の会会長）

令和4年度保護者用アンケート集計を拝見させていただいたところ、93%以上の回答が（A、概ね良い または、B、ふつう）となっており、先生方が子どもたちに真剣に向き合っている姿勢が評価されている表れと考えます。また、記述アンケートにおいて、称賛の声が多かったことについても誇るべきことで、嬉しく思います。

一方、少数ですが、（C、改善してほしい・無回答）があるということは、保護者に上手く伝わらなかった部分やコロナ禍で園との関わりが希薄になってしまったことも要因にあったのではないかと推察いたします。その前提においても、ご意見に対して改善する必要が認められる場合には、しっかりとフォローをし、園の運営に活かしていただくことをお願いいたします。ただ、必要以上の対応は、費用面もそうですが、先生方の負担になり、結果として子どもたちと向き合うパフォーマンスの低下に関わってくるので、バランス感覚をもって取り組んでいただきたいと思います。

先生方の自己評価表については、（C、できなかった）との回答がほぼありませんでしたが、「室内や園庭の安全に対して、定期的に点検・改善を行っているか」の設問において、（C、できなかった）が少し見受けられ、最近あった学校への侵入事件に鑑み、保護者の一人として少し不安を覚えました。ただ、一方、保護者用アンケートの記述欄からはコロナ禍での先生方の対応を高く評価する声が多かったのも事実です。その点においては、先生方の自信を醸成できるようなフォロー体制の強化や先生方自身が健康で元気に子

どもたちと向き合っただけのように、働きやすい・働きがいがある職場環境づくりとともに安全な幼稚園の環境整備にも努めていただくことをご期待しております。